



キャンパス／東京都千代田区、世田谷区、練馬区、板橋区、千葉県松戸市、船橋市、習志野市、神奈川県藤沢市、静岡県三島市、福島県郡山市
 学生数／67,169人 設置者／学校法人日本大学 創立／1889年(1920年大学設置) 教育理念／自主創造
 学部／法、文理、経済、商、芸術、国際関係、危機管理、スポーツ科学、理工、生産工、工、医、歯、松戸歯、生物資源科学、薬
 大学院／法学、新聞学、文学、総合基礎科学、経済学、商学、芸術学、国際関係、危機管理学、スポーツ科学、理工学、生産工
 学、工学、医学、歯学、松戸歯学、生物資源科学、獣医学、薬学、総合社会情報 専門職大学院／法務(ロースクール)
 THE世界大学ランキング2026／1501+位

CASE STUDY

ビッグデータを基に議論を促し 自発的な教学マネジメントへ

日本大学

マスプロ教育と評されがちな大規模な学生数は、IRにおいては強みになり得る。
独自の分析基盤で日々の教育状況を可視化し、データに基づく質向上をめざす。



情報イノベーションセンター
 教学情報担当(CDO) 教学DX戦略委員会委員長

中村 文紀

なかむらふみのり●2008年日本大学理工学部助教、2015年准教授、2026年より現職。2023年日本工学会教育協会「教育士(工学・技術)」取得、2026年より同制度部会委員。2026年、Google Education Leader Program Facilitatorに任命される。

規模の大きさを強みに データ基盤を構築

本学は、長く「学部集合体」としての性格が強く、大学として育てる学生像が見えにくい面がありました。そうした課題意識と「将来像」答申を受け、2007年に教育理念「自主創造」を制定。2016年には「日本大学教育憲章」とそれを支える8つの能力を定め、育成する人材像としての全学的な教育指標を明確化し、各学部のDPに落とし込んでいます。

十分な議論を経て教育の基盤は整いましたが、実際に授業を展開する中で、全学指標と各科目との連動性の強化や、より客観的な達成度の測定・可視化といった次のテーマが見えてきました。例えば、全学生を対象とした達成度調査の自己評価と客観的データを掛け合わせれば、実質的な教育改善につ

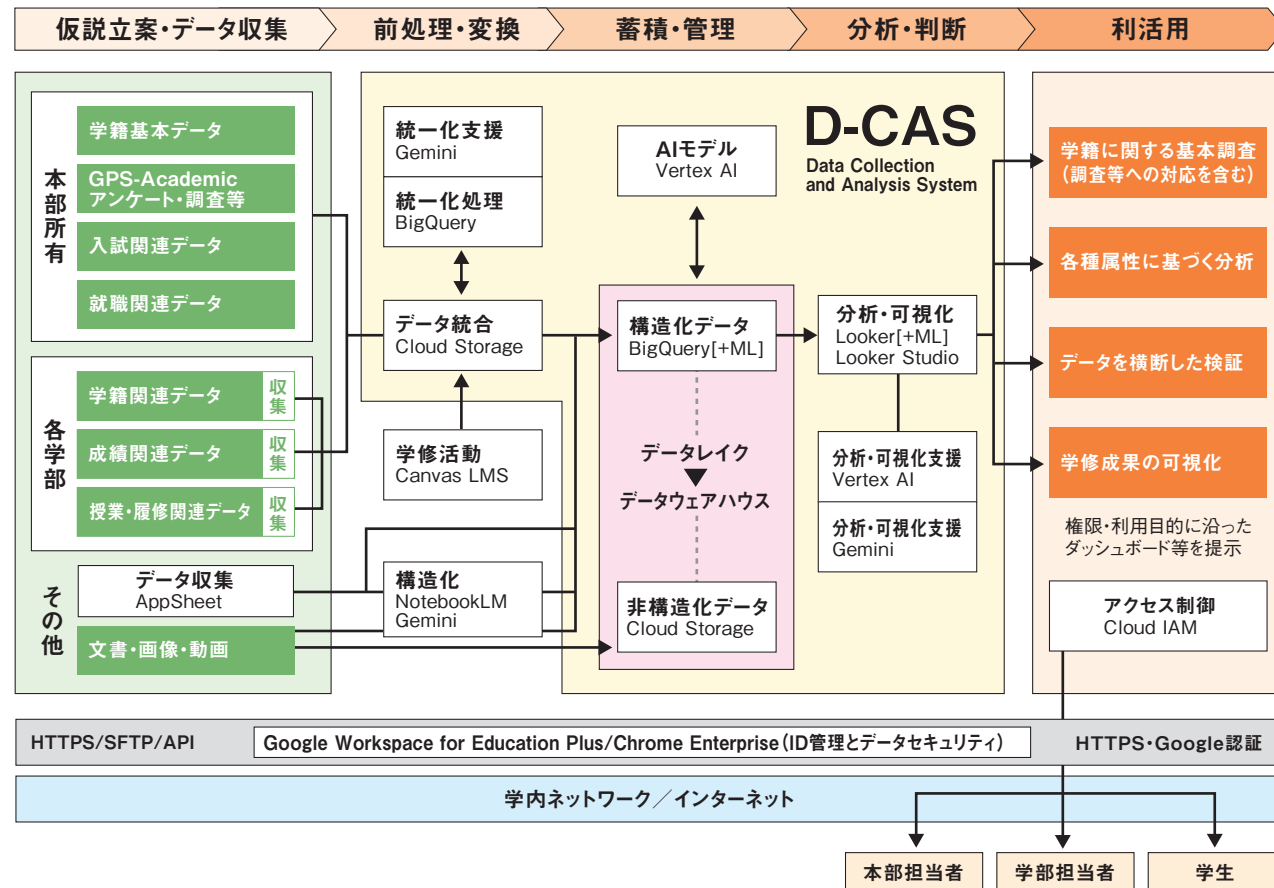
なげられるのではないかと考え、データを用いて、学生の成長を立体的に把握する仕組みを整えることにしたのです。この実現に向けて、学長直轄の教学DX戦略委員会を設け、所属学部で教学IRを担っていた私が推進責任者になりました。

大規模大学の利点は、学生の傾向を把握できるビッグデータを持つ点です。そのメリットを生かし、ともすると教育環境が悪いと思われる、データ駆動型の教育改善をめざしました。委員会のメンバーには、現場感覚に鋭い若手を中心に、データやUIに強い教員を選出。加えて、高大大体での改革のため付属高校の教員にも参加してもらい、データ分析基盤「D-CAS」を構築しました。資産である学生データを柔軟に扱えるよう、全学生データをクラウド上に集約。データ同士を掛け合わせた分析が可能な環境を自分たちの力で整えました。

教員が有用性を実感して 分析、対話が日常に

データを基にした教育の質向上を各学部で進められるように、まずは現場教員にデータで分析する

教学情報収集・分析基盤「D-CAS」の構成図



注目！データを手がかりに学部の問いを引き出し 教育改善を「自分事」にする研修会を実施

データを基にした教学の議論の活性化を目的に、日本大学では2025年度に「教務研修会」を開催。汎用的能力のアセスメント^{*4}のスコアを、出身高校、入試区分、学科といった属性と掛け合わせて分析し、各学部の教務担当教職員に配布した。まずは所属学部の傾向把握に集中してもらおうと、あえて他学部のデータは配布せず、自学部のデータのみを渡した。そのうえで、全体でのディスカッションの時間を設けた。すると、「うちの学部はこの項目が高いが、そちらはどうか」「GPAと掛け合わせたデータも見たい」といった会話が自然に生まれ、参加者の問題意識が一気に具体的になったと言う。

定期的に開催される教学IR委員会でも、各学部がデータ分析の事例を持ち回りで発表している。薬学部の発表に医学部が反応するなど、学部を超えた関心が広がっている。「われわれ本部が一方向的に改善策を示すのではなく、学部が自ら問いを立て、必要なデータを求め、議論を始める。その動きこそ、教育の質向上を実質化する第一歩だと考えている」(中村CDO)。

2025年度の「教務研修会」の様子



各学部の教学に関する責任者や実務担当者の教職員などが一堂に会して議論。

データを基に議論した結果を共有することで、学部を超えた議論が生まれ、「自分の経験や勘による感覚が、データでも検証された」との感想も聞かれた。



*4 GPS-Academic(ベネッセ iキャリア)

*1 文部科学省中央教育審議会「我が国の高等教育の将来像(答申)」(2005年1月28日)

*2 ユーザーインターフェース(User Interface)。利用者と製品やサービスとの間の接点となる手段や見た目。操作画面やデザインなど

*3 Data Collection and Analysis System